

こうか あ がくしゆうほうほう かんが
効果の上がる学習方法を考える

がくしゆう さんだんかいりろん
— 「学 習 の 3 段 階 理 論 」 と は —

かいりんじゆくにほんごがつこう
開 倫 塾 日 本 語 学 校

りじちよう はやしあきお
理 事 長 林 明 夫

かいりんじゆく じゆくちよう
(開 倫 塾 塾 長)

1. はじめに

かいりんじゆくにほんごがつこう とくちよう
— 開 倫 塾 日 本 語 学 校 、 特 長 (よ い と ち ろ) —

(1) 「自己学習能力」、 「(自分で学ぶ力)」 を、 育てること
と

(2) 「自分からすすんで学ぶ力」 を、 育てること

(3) 「効果の上がる学習方法」 を、 育てること

この3つです。



2. (1) 「自覚をもって学ぼう」

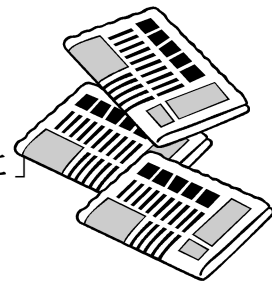
① 「なぜ学ぶのか」 … 「学ぶ目的」 をしっかり持つ

② 「できること」「したいこと」「やらなければならないこと」

はっきりさせる

③ 「自分から進んで学ぶ」

(2) 「学習の方法を工夫」 … 「学習の仕方を自分で考える」



(3) 「読解力(読む力)」を育てる

- ① 「辞書」
 - ② 「新聞」
 - ③ 「読書(本を読む)」
 - ④ 「図書館」
- これに、慣れる、親しむ

3つの「ノート」をつくらう

- ① 「意味調べノート」
- ② 「新聞スクラップブック」
- ③ 「書き抜き読書ノート」

○そして、それらを「学習習慣(習慣の一部)」、「生活習慣(生活の一部)」にしよう!!



3. 「学習の3段階理論」

「学習」を、「理解」「定着」「応用」の「3つの段階(ステップ)」に分ける。そして、どのようにしたらよいか考えよう

(1) 第1段階——「理解」(うんなるほど、よくわかる)段階

① 「予習」…授業の前に教科書を勉強

- ・「読む練習」(音読練習)
 - ・「意味を調べる」
 - ・「書き取り練習」
- を「予習」としてどんどん行う



② 「授業」…「遅刻(おくれて来る)」、欠席(お休みする)、早退(早く帰る)」

ことは、<授業中は>できるだけ避ける(しない)

- ・先生の顔を見て、熱心にお話を聞く
- ・大切なことは、ノートに取る
- ・わからないことは、質問する



③ 「復習」…授業が終わったら、その日の内容をもう一度、勉強する

○「ノート整理」…後で勉強しやすいように「ノートをまとめる」

- ・大切なところに線(アンダーライン)を引く
- ・番号をつける…「1、(1)、①②③のように」

しほう せん かこ
・四方(まわり)を線で囲む

だいにだんかい ていちやく りかい わす み
(2)第2段階——「定着」…「理解」したことを忘れないようにする、身
つ だんかい
に着ける段階

おんどくれんしゅう おと で こえ よ れんしゅう
①「音読練習」…「音を出して(声を出して)、読む練習」

をする

く かえ おんどくれんしゅう
・スラスラよく読めるようになるまで、繰り返し、音読練習

く かえ こえ だ よ れんしゅう
・繰り返し、声を出して読む練習

なに み い あんしゅう
・何も見ないで、言えるようにする…「暗唱」

か と れんしゅう せいかく ただ か
②「書き取り練習」…「正確に、(正しく)」、書けるように

か れんしゅう
なるまで、「書く練習」をする

なに あんしゅう
・何も見ないで書けるまでにする(暗唱)

けいさん もんだいれんしゅう かいとう こた
③「計算・問題練習」…なぜそのような解答(答え)になるか、

りかい けいさん もんだい み しゅんかん
よく「理解(わかった)」計算や問題は、見た瞬間、見たらすぐに、パ

じょうけんはんしゃ こた で なんかい
ッ、パッ、パと条件反射で、答えが出るまで、何回も解く練習をする

れんしゅう ふかのう かのう
○「練習は不可能(できないこと)を可能(できるように)にする」

だいさんだんかい おうよう てんすう と しやかい やく た だんかい
(3)第3段階——「応用」…「よい点数を取る」「社会で役に立てる」段階

しけん てんすう まんでん ごうかくてん
①「試験(テスト)で、よい点数(100 満点)、合格点をとることができる」

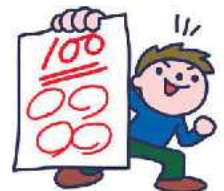
きょうかしよ ぜんぶ おぼ
・教科書(テキスト)を、スミからスミまで全部(すべて)覚える

なんじゆつかい なんびやつかい く かえ きょうかしよ もち
・何十回、何百回も、繰り返し、教科書(テキスト)を用いて、

おんどくれんしゅう か と れんしゅう けいさん もんだいれんしゅう
「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」をする

しけん か こ いま で もんだい ねんぶん かいじょう
・その試験(テスト)で過去(今まで)に出た問題を、10 年分、10 回以上

と もんだい
「ノート」に解く。そして、できない問題をなくす



② 「社会で役立てることができる」

• 学校で学んだことは、すべて役に立ちます。

• ですから決して「テキスト」や「参考書」「辞書」などを処分しない(捨てない)こと

• 大切に保存(とっておく)、そして一生かけて繰り返して学び直すことが大切です



4. おわりに、最後に一言

(1) 「学力」とは「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」——

「自己学習能力」のことです

(2) このような意味での「学力」が身につくと、

① 「自分の夢や希望を、少しずつ実現すること(自己実現)」ができます

② 「多様な選択肢のある人生を歩むこと」ができます

「いろいろな生き方を選ぶこと」ができます

③ 「正常な社会の形成に貢献」することができます

「社会のお役に立つこと」ができます。可能(できる)になります)

(3) ① 質問があったら、遠慮しないで、どんどんしてくださいね

② お体、お大切に

③ では、がんばって!!

あしかがしりつとしよかん まいにちい
足利市立図書館には、毎日行こう!

そして、辞書、新聞、読書に親しもう!

いじょう
以上

お願い

みなさま にほん なん みなさま しょうらい きぼう なん
皆様が、日本でしたいことは何ですか。皆様の将来の希望は何ですか。

あと き
後でお聞かせください。